

# メタノールバンカリング実施上の課題について

メタノールバンカリング拠点のあり方検討会第一回 発表資料

2024年9月25日

# 検討会における議論の方向性（案）

## 避けたい方向性とアウトカム

---

- 技術や制度など方法論の議論に終始し、手段が目的化する
- 内向きの部分最適を優先したガイドラインを作成し、新たなローカルルールを増やす
- 限られたプレイヤーの参加により、ムーブメント醸成の機会を逸する

## ありたい方向性とアウトカム

---

- 競争力強化戦略を練り直す機会と位置づけ、成果物を明確にする
- 海外事例からの教訓も反映させたガイドラインを作成し、国際展開の検討も行う
- メタノール燃料対応船を発注済みの船社を巻き込み、実施へのコミットメントを促す

拠点のあり方を検討するにあたり、競争力強化とインフラ整備上の課題を並行して議論することが求められる

### 競争力強化戦略の練り直し

- ゴールと時間軸の設定（いつまでにどうありたいのか？）
- 現状理解・課題見極め（例：横浜港が選ばれる要件は？）
- 打ち手の設定（例：先行者支援、戦略港湾の利用促進支援策とのシナジー）
- 伝達と実行（例：対外的なナラティブ、効果的なポートセールス）

### バンカリング実施における諸課題

- SIMOPSが大前提となるが、安全かつ円滑に行える環境整備が必要となる
- 許認可手続きや関係者間との連携方法が標準化されておらず、プロセス全体に必要以上の時間と労力がかかる
- 燃料補給船の大型化・レトロフィットが進んでおらず、停泊時間内に補給が終えられないケースも発生している